

NOKYO SHIKA

JA志賀



No. 101 夏号

特集

第52回通常総代会の開催結果について

残暑お見舞い申し上げます



ご挨拶

代表理事組合長 新谷 克己

残暑厳しい折、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素よりJ A事業全般にわたり、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに対し、衷心より厚くお礼申し上げます。

また、今夏の梅雨前線による集中豪雨等に伴い甚大な被害に遭われた九州北部をはじめとする被災地の方々に對しましては、心よりお見舞い申し上げます。

当J A管内においても7月1日の大雨により広範囲での水田冠水やその後の台風5号など農作物への影響が懸念されましたが、大きな被害が生じることなく順調に出来秋を迎えられたことに安堵しているところであります。

さて、現在、全国のJ Aでは「J Aグループ自己改革」と銘打って、農業者や地域にとつての存在感を一段と高めるべく強力な運動を展開中です。

具体的には「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を基本

目標に掲げ、従来以上のきめ細かい利用者サービスを目指すもので、安全・安心な食料を提供するための担い手育成を図り、持続可能な自立した農業者をJ Aが支援していくことこそが、少子高齢化による農村地域の衰退に歯止めをかける一助になると確信しております。

「能登米、志賀米」のブランド力向上をはじめ、各種園芸作物の生産振興と有利販売、これらを支える資金融通と資産形成、生命・建物の保障など、まさにJ Aの総合力をフルに發揮して「なくてはならないJ A」を目指して参ります。

先の通常総代会における役員改選に伴い新たな布陣でスタートを切ったところであり、役職員はもちろんのこと、組合員・利用者の皆様とも十分協議しながらJ A自己改革を完遂していく所存でありますので、なお一層のご支援とご愛顧をお願い申し上げます。

皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

新役員のご紹介

6月24日、総代会終了後に開催の理事会、監事会において、新執行体制が以下の通り決定しました。

【理事 19名】

代表理事組合長 新谷 克己(常勤)

常務理事 藤田 修一(常勤)

常務理事 岡塚 忠浩(常勤)

理事 吉野 成明(非常勤)

理事 西村美美江(非常勤)

理事 仙崎登喜夫(非常勤)

理事 山本 敏則(非常勤)

理事 稲岡 利男(非常勤)

理事 不動万里子(非常勤)

理事 堂寺 健一(非常勤)

理事 高井 政義(非常勤)

理事 岡 雅博(非常勤)

理事 藤井外茂次(非常勤)

理事 小山 剛(非常勤)

理事 福田 友枝(非常勤)

理事 寺井 康人(非常勤)

理事 中川 信幸(非常勤)

理事 野村 時夫(非常勤)

理事 大石 守(非常勤)

【監事 5名】

代表監事 島田多加夫(常勤)

監事 町岡 祐一(非常勤)

監事 東 博明(非常勤)

監事 坂口 美彦(非常勤)

員外監事 山田 隆英(非常勤)

『農業と地域に根ざし、 地域社会と共存する JAをめざして』



第52回 通常総代会開催



JA志賀の第52回通常総代会は、6月24日（土）午前10時より志賀町文化ホールで開かれました。

総代数520名のうち、496名（本人出席298名、議決権行使198名）の出席により会議が成立し、新谷組合長の開会の挨拶に続き、来賓の小泉志賀町長が祝辞を述べた後、議長に井上保英総代（富来地区）を選任し議案の審議に入りました。

慎重なる審議の結果、平成28年度事業報告及び剰余金処分案の承認の件のほか、上程された全議案が原案通り可決・承認されました。

第52回 通常総代会提出議案

【審議事項】

第1号議案 平成28年度事業報告及び剰余金処分案の承認の件

第2号議案 平成29年度事業計画の設定の件

第3号議案 全国農業協同組合連合会が行う農業経営事業に関する同意の件

第4号議案 規約の一部変更の件

第5号議案 農地利用集積円滑化事業規程の一部変更の件

第6号議案 理事及び監事の報酬に関する件

第7号議案 退任理事及び監事に対する退職慰労金支給の件

第8号議案 役員を選任の件

【報告事項】

①平成28年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書並びに全国中央会及び監事の監査報告について

②「株式会社JAアグリサポートしか」の平成28年度事業報告及び平成29年度事業方針について

平成28年度 事業報告

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

JAGグループとしての自己改革を推し進める中、当JAとしても地域農業戦略を樹立し農業者とともに地域農業振興に向けた新たな取組みに着手しました。

こうした中、第4次中期3カ年計画の1年目として取り組んで参りました。

結果、経常利益1億100万円、当期剰余金83百万円という結果を残すことができました。

信用事業

人口の減少による相続貯金の流出はじめ、少子・高齢化が進む中「利用者満足度向上を図り、地域の皆様から選ばれるJAバンク」の実現に向け、信頼の確保や、身近で便利なメインバンク機能向上を目指し、年金・ローン相談会の開催、住宅・マイカー・教育等各種ローンの低金利提供、独自の高金利対応「退職金定期貯金」や「年金定期貯金」の募集、本年度、節目を迎え「JA志賀設立50周年・合併10周年記念旅行定期積

金」の企画募集、また恒例の夏・冬ボーナス時期のキャンペーン実施や新社会人に対する給振獲得と合わせ、年金口座の獲得を核として取り組みました。

共済事業

平成28年度は、JAの理念である「相互扶助」を事業活動の原点とし、JAの総合事業の一環として「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供することに、組合員・利用者のくらしを守り、健康で安心して暮らせる地域社会づくりに取り組みました。

購買事業

営農部門との連携により、「農家所得の増大」に向けた生産コストの低減を図るとともに、「安心して信頼される商品・資材」の提供に取り組んでまいりました。

自動車燃料部門では、整備(車検)・販売部門とも厳しい情勢ではありましたが、各種展示会・キャンペーン

等により組合員・利用者のニーズに応えるよう努めました。

営農指導・販売事業

「地域農業戦略」取組み初年度として、経営所得安定対策の積極的な加入支援を行うとともに、認定農業者をはじめとする地域の担い手と連携し、農業振興に努めました。

基幹作物の米については、「うまい・きれいな石川米づくり運動」を基本とし、環境と調和した「能登米・志賀米」の生産に取り組みました。

平成28年度産米の作況指数は、能登地区104(石川県104)となるなか、71,021俵の集荷実績、販売高は792百万円(計画対比112・7%)でありました。

また飼料用米については、前年度より1,406俵増加し9,875俵の実績でありました。

米以外の取扱高では、単価高で推移した西瓜や、昨年10月に「能登志賀こころ柿」が地理的表示保護制度(GI)に登録されたこともあり298百万円(計画対比141・9%)でありました。

利用事業

育苗センターでは、健苗育成に取組

むなか、直播の普及や自家育苗への変更、圃場整備等が起因し、前年度より13,691箱減の145,008箱の利用実績でありました。

共同乾燥施設では、円滑な施設運営のもと、継続した大口利用者割引やスタンドバックフレコン購入助成の実施など、利用率向上に取組むとともに、良質米の安定生産に努めた結果、飼料用米除く施設の利用量は1,839t(30,653俵)でありました。

平成28年度の主な事業実績

(単位：千円)

項目	計画額	実績額	対 比
貯 金 (平均残高)	43,387,000	43,963,000	101.3%
貸付金 (平均残高)	10,011,000	10,018,000	100.0%
長期共済新契約高	6,100,000	6,325,000	103.6%
年金共済新契約高	40,000	45,000	112.5%
購 買 品	2,340,200	2,285,000	97.6%
販 売 品	1,413,000	1,565,000	110.7%

平成28年度 貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 信用事業資産	46,500,406,686
(1) 現金	192,154,448
(2) 預 金	31,278,352,767
系統預金	31,260,688,627
系統外預金	17,664,140
(3) 有価証券	5,686,390,500
国 債	2,272,580,000
地方債	2,066,490,500
政府保証債	216,320,000
社 債	1,131,000,000
(4) 貸出金	9,352,460,315
(5) その他の信用事業資産	50,820,799
未収収益	42,051,764
その他の資産	8,769,035
(6) 貸倒引当金	▲ 59,772,143
2. 共済事業資産	13,420,509
(1) 共済貸付金	10,348,764
(2) 共済未収利息	139,611
(3) その他の共済事業資産	2,932,134
3. 経済事業資産	479,920,928
(1) 受取手形	589,486
(2) 経済事業未収金	320,084,404
(3) 経済受託債権	29,608,527
(4) 棚卸資産	123,412,950
購買品	83,544,182
繰越諸材料	37,522,325
その他の棚卸資産	2,346,443
(5) その他の経済事業資産	19,942,865
(6) 貸倒引当金	▲ 13,717,304
4. 雑資産	77,390,127
5. 固定資産	769,158,482
(1) 有形固定資産	766,470,288
建 物	2,349,208,423
機械装置	487,563,160
土 地	143,976,092
その他の有形固定資産	425,961,924
減価償却累計額	▲ 2,640,239,311
(2) 無形固定資産	2,688,194
その他の無形固定資産	2,688,194
6. 外部出資	1,586,735,295
(1) 外部出資	1,586,735,295
系統出資	1,444,133,295
系統外出資	92,702,000
子会社等出資	49,900,000
資産の部合計	49,427,032,027

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	43,861,739,411
(1) 貯 金	43,766,387,199
(2) 借入金	1,510,000
(3) その他の信用事業負債	93,842,212
未払費用	13,491,762
その他の負債	80,350,450
2. 共済事業負債	352,666,342
(1) 共済借入金	10,348,764
(2) 共済資金	235,943,091
(3) 共済未払利息	139,611
(4) 未経過共済付加収入	102,203,517
(5) 共済未払費用	1,911,349
(6) その他の共済事業負債	2,120,010
3. 経済事業負債	227,223,000
(1) 経済事業未払金	147,741,385
(2) 経済受託債務	70,083,707
(3) その他の経済事業負債	9,397,908
4. 雑負債	191,633,999
(1) 未払法人税等	20,492,500
(2) 資産除去債務	23,648,852
(3) その他の負債	147,492,647
5. 諸引当金	238,366,161
(1) 賞与引当金	12,688,259
(2) 退職給付引当金	214,251,845
(3) 役員退職慰労引当金	11,179,129
(4) ポイント引当金	246,928
6. 繰延税金負債	58,264,438
負債の部合計	44,929,893,351
(純資産の部)	
1. 組合員資本	4,084,998,023
(1) 出資金	938,204,000
(2) 利益剰余金	3,148,352,023
利益準備金	1,012,949,698
その他利益剰余金	2,135,402,325
リスク管理積立金	621,551,859
農業経営基盤積立金	145,000,000
施設整備積立金	324,000,000
税効果積立金	88,335,130
特別積立金	500,913,815
当期末処分剰余金	455,601,521
(うち当期剰余金)	(83,691,015)
(3) 処分未済持分	▲ 1,558,000
2. 評価・換算差額等	412,140,653
(1) その他有価証券評価差額金	412,140,653
純資産の部合計	4,497,138,676
負債及び純資産の部合計	49,427,032,027

単体自己資本比率 28.01%

組合員数

資格区分	期 首	当期増加	当期減少	期 末	増 減
正 組 合 員	3,938	56	116	3,878	▲60
准 組 合 員	1,903	74	50	1,927	24
計	5,841	130	166	5,805	▲36

出資口数

(単位:口)

資格区分	期 首	期 末	増 減
正 組 合 員	852,759	836,991	▲ 15,768
准 組 合 員	92,884	99,655	6,771
処分未済持分	5,221	1,558	▲ 3,663
計	950,864	938,204	▲ 12,660

出資1口金額 1,000円
払込済出資総額 938,204,000円

平成28年度 損益計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額
1. 事業総利益	1,027,387,132
(1) 信用事業収益	433,766,295
資金運用収益	379,668,630
(うち預金利息)	(130,747,867)
(うち有価証券利息)	(77,658,250)
(うち貸出金利息)	(125,230,009)
(うちその他受入利息)	(46,032,504)
役務取引等収益	11,530,461
その他事業直接収益	30,298,000
その他経常収益	12,269,204
(2) 信用事業費用	58,896,323
資金調達費用	19,781,728
(うち貯金利息)	(18,066,039)
(うち給付補填備金繰入)	(1,172,606)
(うちその他支払利息)	(543,083)
役務取引等費用	4,915,615
その他経常費用	34,198,980
(うち貸倒引当金繰入額)	(988,584)
信用事業総利益	374,869,972
(3) 共済事業収益	330,882,746
共済付加収入	311,801,412
共済貸付金利息	249,990
その他の収益	18,831,344
(4) 共済事業費用	25,360,653
共済借入金利息	249,990
共済推進費	8,964,165
その他の費用	16,146,498
共済事業総利益	305,522,093
(5) 購買事業収益	2,362,828,703
購買品供給高	2,284,791,849
修理サービス料	44,494,756
その他の収益	33,542,098
(6) 購買事業費用	2,150,323,613
購買品供給原価	1,940,038,985
購買供給費	29,051,617
その他の費用	181,233,011
(うち貸倒引当金戻入益)	(▲ 4,671,244)
購買事業総利益	212,505,090
(7) 販売事業収益	78,595,112
販売品販売高	799,643
販売手数料	64,167,546
その他の収益	13,627,923
(8) 販売事業費用	21,020,118
販売品販売原価	706,216
販売費	8,035,034
その他の費用	12,278,868
販売事業総利益	57,574,994
(9) 保管事業収益	17,042,790
(10) 保管事業費用	16,936,706
保管事業総利益	106,084

科 目	金 額
(11) 加工事業収益	1,752,630
(12) 加工事業費用	1,681,492
加工事業総利益	71,138
(13) 利用事業収益	192,403,154
(14) 利用事業費用	124,050,946
(うち貸倒引当金戻入益)	(▲ 207,422)
利用事業総利益	68,352,208
(15) 葬祭事業収益	87,804,994
(16) 葬祭事業費用	80,530,789
葬祭事業総利益	7,274,205
(17) 福祉事業収益	50,086,832
(18) 福祉事業費用	41,851,844
福祉事業総利益	8,234,988
(19) その他事業収益	5,275,073
(20) その他事業費用	1,992,708
その他事業総利益	3,282,365
(21) 指導事業収入	3,691,847
(22) 指導事業支出	14,097,852
指導事業収支差額	▲ 10,406,005
2. 事業管理費	947,800,411
(1) 人件費	726,486,778
(2) 業務費	89,029,137
(3) 諸税負担金	25,485,175
(4) 施設費	104,444,476
(5) その他事業管理費	2,354,845
事業利益	79,586,721
3. 事業外収益	31,613,465
(1) 受取雑利息	516,521
(2) 受取出資配当金	27,548,200
(3) 賃貸料	1,139,708
(4) 雑収入	2,409,036
4. 事業外費用	278,000
(1) 寄付金	278,000
経常利益	110,922,186
5. 特別利益	6,740,294
(1) 臨時収入	440,294
(2) 一般補助金	6,300,000
6. 特別損失	18,840,598
(1) 固定資産処分損	4,744,970
(2) 減損損失	835,628
(3) 固定資産圧縮損	6,300,000
(4) その他の特別損失	6,960,000
税引前当期利益	98,821,882
法人税、住民税及び事業税	26,117,840
法人税等調整額	▲ 10,986,973
法人税等合計	15,130,867
当期剰余金	83,691,015
当期首繰越剰余金	371,910,506
当期末処分剰余金	455,601,521

剰余金処分

(単位：円)

科 目	金 額
1. 当期末処分剰余金	455,601,521
2. 剰余金処分数額	105,286,550
(1) 利益準備金	20,000,000
(2) 任意積立金	74,195,568
リスク管理積立金	63,208,595
税効果積立金	10,986,973
(3) 出資配当金	11,090,982
3. 次期繰越剰余金	350,314,971

1. 出資配当は年1.2%の割合である。
2. 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額10,000,000円が含まれている。

平成 29 年度 事業計画

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

基本方針

◆ 経営基本方針 ◆

第4次中期3か年計画の2年目として引き続き、組合員・利用者の皆様のニーズに応えるべく、行政等関係機関との連携のもと、次の事項を基本目標として、経営の安定性や成長性を確保し、地域に貢献できるJAを目指します。

◆ 基本目標 ◆

- ① 農業者の所得増大
- ② 農業生産の拡大
- ③ 地域の活性化

◆ 重点実施事項 ◆

- ① 地域農業戦略の実践
- ② 担い手の育成と支援強化
- ③ 支店を核とした地域の活性化
- ④ コンプライアンスとリスク管理体制の強化
- ⑤ 人材の育成と確保

主要事業目標

(単位：千円)

項目	計画額
貯金(平均残高)	43,995,000
貸出金(平均残高)	10,088,000
長期共済新契約高	5,200,000
年金共済新契約高	36,000
購買事業取扱高	1,636,700
販売事業取扱高	1,465,000

損益計画

(単位：千円)

項目	計画額
事業総利益	978,001
事業管理費	927,298
事業利益	50,703
経常利益	81,553
税引前当期利益	78,553
当期剰余金	60,553

施設整備計画

(単位：千円)

施設名	資産種類	内容	事業費
農業施設用地	土地	増穂 RC 周辺の土地	8,400
カントリーエレベーター	機械装置	自主検査設備・色彩選別機他更新	93,500
富来給油所	機械装置	POS・計量機更新	10,350

(※不稼働資産については、順次処分する。)





平成29年度

新規採用職員紹介

- ① 趣味
- ② 好きな言葉
- ③ 抱負を一言



竹森 賢生
(富来営農センター)

- ① 陸上競技
(長距離、マラソン)
- ② 努力は人を裏切らない
- ③ 組合員の皆様に信頼していただける職員になれるよう一生懸命業務に励みます。



浜田 翔太
(志賀営農センター)

- ① スポーツ観戦
- ② 継続は力なり
- ③ まだまだ分からない事が多いですが、組合員や地域の皆様に信頼してもらえるよう、精一杯頑張ります。



庄田 萌乃
(本店業務課)

- ① 音楽を聴くこと、大相撲を見ること。
- ② DIY
(Do it yourself)
- ③ まだまだ慣れない事が多いですが、頑張っていきたいと思います。よろしくお祈りします。



【永年勤続20年】

6月24日(土)に開催された当組合
通常総代会の席上、優良職員表彰が行
われました。

永年勤続職員表彰

- 星場 慶 (上熊野支店)
松田 大一 (営農課)
山下 昌美 (土田支店)
中村 陽子 (下甘田支店)
上尾 夕子 (営農課)

青果物の目合せ会、初出荷

玉ねぎ初出荷



↑規格毎（大、中、小）に仕分けられ出荷される玉ねぎ。
（富来営農センターにて）

←本年度、約20tの出荷を目指す、「農事組合法人ファーム給分」の三本松 繁 代表。

7月7日、玉ねぎの出荷が始まりました。玉ねぎは葉タバコの廃作後、遊休地となった土地を「農事組合法人ファーム給分」が栽培面積約50アールで生産したものです。

大、中、小の規格毎に仕分けられた玉ねぎは県内の加工会社に出荷されました。

玉ねぎは、本年度より当JAが産地化に向けて取り組む品目として設定し、今後生産法人等への栽培講習会や説明会等を開催し、生産拡大を図っていくものです。

汐風ごぼう初出荷

7月13日、汐風ごぼうの目合せ会の後、初出荷されました。汐風ごぼうは、長さが25～35センチと短く、柔らかくあくが少ない事が特徴です。主に金沢、大阪方面に出荷されます。

出荷にあたっては、規格毎に3本～4本に袋詰めされ出荷されます。また、本年産から更に消費拡大を図る為、汐風ごぼうのレシピを掲載したチラシを作成しました。

（汐風ごぼうのレシピはJA志賀ホームページにも掲載しております。ぜひご覧下さい。）



↑汐風ごぼうの初出荷を前に集まった生産者の皆さん。
（富来営農センターにて）

→初出荷に合せ目合せ会を開催



↑本年度の出来ばえを確認する部会員の皆さん。

←志賀産能登すいかの格付け目合せ会。
（西山選果場にて）

能登すいか初検査・初出荷

7月18日、本年産能登すいかの目合せ会、初検査がありました。志賀町産能登すいかは、本年産から高温時期でも病気に強く、果肉の軟化が進みにくい品種を選定し生産しています。

今年度は春先の曇天の影響により出荷が約1週間程度遅れたものの、初出荷では糖度が平均12度以上の、食味、食感とも最高な仕上りになった志賀産能登すいかが出荷されました。



志賀町特産 「汐風ごぼう」を使った 料理講習会を開催



お酢をふんだんに使い、健康にも身体にも良い品が出来上がり参加した会員からは新しいレシピが増え、家族に食べてもらいたいとの声があり、大変好評でした。

J A 志賀女性大学は7月25日(火)・26日(水)・27日(木)の3日間に分け、志賀町文化ホールで「汐風ごぼう」を使った料理講習会を開催しました。講習会は各校下毎に開催し、3日間で合計72名の会員が参加しました。講習会ではエーコープの酢でお馴染みの大興産業(株)鳥越和泉氏を講師に迎え、「ごぼうとひじきの混ぜ寿司」「しめじとごぼうの粒マスタード炒め」「揚げ豚のカレー風味南蛮」「豚ひき肉のサンラータン」の4品を作りました。

能登汐風ごぼうで *Let's Cooking!*

ごぼうとひじきの混ぜ寿司



作り方

- ①米は洗ってザルに上げて水気をきり、水 600cc を入れて 30 分以上おき、炊く。
- ②ごぼう … ささがきにし、酢水にさらしてアクを抜き、水気をきる。
ひじき … 水で戻し、水気をきる。
にんじん … せん切り。
梅干し … 種を取り、包丁で粗めにたたく。
卵 … 砂糖、塩で調味をし、錦糸卵にする。
かいわれ菜 … 根元を切り、半分に切る。

材料 (6 人分)

米	3 カップ (600g)
☆合わせ酢	
砂糖	大さじ 3
塩	小さじ 1
エーコープ五倍酢原液	大さじ 2
汐風ごぼう (五倍酢原液 少々)	2 本 (約 100g)
ひじき(乾)	20g
にんじん	50g
油	小さじ 2
◎調味料	
だし汁	200cc
しょうゆ	大さじ 2
エーコープ新調味みりん風	大さじ 1
砂糖	大さじ 2
梅干し	3 個
卵	2 個
かいわれ菜	1/2 パッ
白ごま	大さじ 2

- ③鍋に油を入れて、ごぼう、ひじき、にんじんを加えて約 1 分間炒め、◎調味料を加え、汁気がなくなるまで煮て火を止める。
- ④ご飯が炊けたら☆合わせ酢を合わせ、すし飯を作る。
(・砂糖と塩は、同じ器に入れて混ぜ合わせる。
・エーコープ五倍酢原液は、別の器に入れておく。)
- ⑤すし飯に③と、梅干し、白ごまを加えて混ぜ合わせて器に盛り、錦糸卵、かいわれ菜を飾る。



谷村 新司 45th
45周年スペシャル

TANIMURA
CLASSIC

With オーケストラ・アンサンブル金沢

2017
11/14 Tue 15:15開場
16:00開演

石川県立音楽堂コンサートホール

【プログラム】「いい日旅立ち」
「昴」「サライ」他

管弦楽 オーケストラ・アンサンブル金沢
Orchestra Ensemble Kanazawa

指揮
渡辺 俊幸
Toshiyuki Watanabe
Conductor



「谷村 新司 With **抽選でペア650組 (1,300名様) をご招待**
オーケストラ・アンサンブル金沢」 **コンサート開催決定**

応募対象者

- ①JAで年金の振込を指定していただいている方
- ②JAで新たに年金を受給するため年金請求書を作成し、JAを受取金融機関に指定していただいた方
- ③他金融機関から年金振込先をJAに変更するため、年金振込先変更届を作成し、年金事務所に提出いただいた方
- ④JAで年金指定予約をしていたいただいた方のうち受給開始まで1年以内の方

応募期間

平成29年9月22日(金)まで

応募方法

応募用紙に必要事項をご記入のうえ、ご利用JAの店舗窓口にお持ちください。

当選発表

コンサートチケットの発送をもって発表にかえさせていただきます。
(平成29年10月3日(火)を予定)

コンサートに関するお願い

- お客様から座席の指定はできませんのでご了承ください。
- 出演者等の都合により、コンサートの内容の一部を予告なく変更させていただきます場合がありますのでご了承ください。
- 乳幼児等就学前のお子さまの同伴・入場はご遠慮ください。

ATM などのサービスを 一時休止させていただきます。

いつも JAバンクをご利用いただきありがとうございます。

このたび JAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながら
ATM・JA ネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年
(2017) 9月16日(土)・17日(日)

平成30年
(2018) 1月 6日(土)・7日(日)・8日(月祝)

**上記期間中は、JAバンクのキャッシュカードによる
ATMのご利用はできませんので、ご注意ください。**

休止させていただくサービス



JAバンクのATM

JAバンクのATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス



JAネットバンクサービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、残高照会や振込・振替など、すべてのサービス



コンビニ等のATM

JAキャッシュカードによるセブン銀行、ゆうちょ銀行、その他提携金融機関やコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス



デビットカードサービス

デビットカード機能がついたJAキャッシュカードによるJ-Debit加盟店での代金決済



現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。